

令和3年度事業実施状況報告

事業の実施状況

I 科学技術に関する学術研究振興を目的とする事業（公1）

(1) 静岡県内の大学等における科学技術に関する試験研究を行なう者に対する助成金の給付事業（定款第4条第1項第1号）

本号に関し、本年度は以下のような事業を実施した。

①研究助成

1) 科学技術試験研究助成金

- | | |
|--|------------|
| 1. 静岡大学工学部電気電子工学科 助教 大多哲史
がん温熱治療用マテリアルとして最適化された磁性ナノ粒子封入膜小胞の開発 | 500,000円 |
| 2. 浜松医科大学医学部放射線腫瘍学講座 医員 荒牧修平
超高線量率照射法 FLASH における酸素枯渇仮説の質量顕微鏡による検証 | 500,000円 |
| 3. 静岡県立大学薬学部薬学科分子病態学分野 講師 刀坂泰史
心臓アンチエイジングを目的とする機能性食品の開発 | 500,000円 |
| 計 3名 | 1,500,000円 |

2) 村田基金研究助成金

- | | |
|---|------------|
| 1. 静岡大学工学部機械工学科 助教 中澤謙太
大気圧プラズマ環境下で高分解能計測可能な共焦点レーザー変位センサ | 500,000円 |
| 2. 静岡大学工学部電子物質科学科 講師 嵯峨根史洋
無機粒子により Mg 負極の反応性を飛躍的に改善した新規マグネシウム二次電池の開発 | 500,000円 |
| 3. 静岡大学工学部電子物質科学科 助教 松原亮介
蒸着重合合法による π 共役高分子の3次元配向制御と偏光検出 | 500,000円 |
| 計 3名 | 1,500,000円 |

②研究寄附金助成金（実費助成）

学会参加助成費	199,179円	
給料手当	110,000円	
会議費	92,006円	
旅費交通費	0円	
通信運搬費	12,984円	
什器備品費	0円	
消耗品費	147,737円	
雑費	60,617円	
		計 622,523円

③共同研究事業（技術開発・研究開発）

「組込みソフトウェア技術者育成に関する共同事業」	静岡大学	11,676,847円
「オイルレス水素膨張機的设计最適化」	トヨタ自動車（株）	5,609,253円
		計 17,286,100円

(2) 研究成果の公表及び科学技術情報の提供事業（定款第4条第1項第1号）

本号に関し、本年度は以下のような事業を実施した。

①科学技術情報誌の制作

財団ニュース第23号の制作 11,000部 473,000円

②科学技術情報誌の発送

科学技術情報誌の発送費 100,000円

計 573,000円

(3) 大学等と研究機関、地域社会及び産業界との知的及び技術的交流の促進事業（定款第4条第1項第2号）

本号に関し、本年度は以下のような事業を実施した。

①科学技術交流会（浜松地区）令和3年5月15日（土）（オンライン開催）

講演会 「無線ネットワークが拓く未来

～5G、自動運転、車々間通信、センサネットワーク」石原 進 401,088円

②科学技術交流会2022 静岡（静岡地区）令和4年2月5日（土）（オンライン開催）

講演会 「結晶表面における構造制御と材料開発」下村 勝 48,869円

計 449,957円

※沼津地区で予定していた科学技術交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、開催延期。（令和4年7月）

※富士地区で予定していた科学技術交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、開催中止。

(4) その他の事業

①静岡商工会議所・静岡大学浜松キャンパス・浜松科学技術研究振興会交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、開催中止。

②さなる meetup

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、開催中止。

③「産業振興フェア inいわた」

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、縮小して開催された「産業振興フェア inいわた」は不参加。

II 収益事業

1. 産学官の連携により技術開発、研究開発、実用化推進のための受託研究助成事業実施。

受入件数1件 500,000円

2. 団体等の業務受託事業

浜松工業会（静岡大学工学部・情報学部同窓会）から、会員管理業務、総会・理事会等の会議業務などの事務管理業務を受託した。

業務受託受入額 3,600,000円